

平成 29 年度 大阪府立花園高等学校 第 3 回学校協議会の記録

- 1 日 時 平成 30 年 2 月 9 日 (金) 15 時 30 分～16 時 50 分
- 2 出席者 協議会 会長 学識経験者
委員 学識経験者 地域自治会地区長 本校 P T A 会長
校長 教頭 首席 生徒指導主事 文化国際部部長 2 年学年主任
- 3 協 議 本年度の取組と次年度の計画について
 1. 時代の変化に対応しながら生徒の力を引き出し、伸ばす指導への挑戦
 - ① 国際教養科を中心としたこれまでの取組と伝統のある学校行事、部活動を大切にしつつ、短いスパンで目標を置き、学習を継続できる工夫
 - ② 遅刻・身だしなみ・マナー指導の徹底
 - ③ 情報を発信する機会の増加 英語でのスピーチや各種報告会での発表及び学校説明会での中学生や保護者に対するの説明など
 - ④ HANAZONO 探究プロジェクトの充実
 2. 英語四技能の総合的指導
 - ① ワーキンググループでたたき台を作成し英語科を中心に普通科及び国際教養科それぞれの全体像を検討
 - ② 各教科・科目における目標、指導方法の共有を図る
 3. 次年度最大の課題
『自学自習の習慣の確立』
 - ① 教職員の目標設定と共通理解
 - ② 新入生の導入期指導の工夫
 - ③ 1, 2 年次の基礎学力定着の徹底 到達度テストの導入
 - ④ キャリア形成支援の充実
 - ⑤ 進路指導の充実 研究 情報共有 戦略
- 4 報 告 第 2 回授業アンケート結果報告
 - ① 29 年度第 1 回アンケートと比較して 9 項目すべてでポイントアップ
互見授業は全員が実施し、多い者は 7 回授業見学を行った
- 5 委員からの主な提言
 - ・時代の経過に伴い、社会変容のスピードが速くなっている
 - ・多様性が重視されるようになり、入試の在り方もどんどん変わってきている
 - ・生徒にはアドバイスが必要だが、昔のままでは通用しない。教員も情報収集、研究が
欠かせない
 - ・特に高大接続改革で今の 1 年生からは、入試制度が大きく変わる。HANAZONO 探究プロジェクトには期待するところが大きい。大学をはじめとした外部機関との連携をさらに充実させてほしい。